

くまのこ

☎ 議会だより

103号
2021.10.25

ちよっといっぷく。
蝶を追い、パチリ！



も く じ	9月定例会	2
	令和2年度球磨村一般会計・特別会計の決算は	4
	9月定例会議案等審議結果	6
	一般質問	7
	編集後記	14

令和2年度決算額は77億7千7百26万円

9月定例会の概要

- 開会 令和3年9月2日
- 閉会 令和3年9月13日
- 会期 12日
- 審議内容

- ・報告 1件
- ・認定 4件
- ・議案 7件
- 計画 1件／条例 3件
- 予算 3件
- ・発議 1件

【報告】

令和2年度財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

令和2年度の決算について、監査委員による審査の意見を付け、村長から健全な財政運営がなされ、公営企業会計の簡易水道特別会計の資金不足はないことの報告があった。

【認定】

- ①令和2年度球磨村一般会計決算の認定について
- ②令和2年度球磨村国民健康保険特別会計決算の認定について
- ③令和2年度球磨村後期高齢者医療特別会計決算の認定について
- ④令和2年度球磨村介護保険特別会計決算の認定について
- ⑤令和2年度球磨村簡易水道特別会計決算の認定について

令和2年度一般会計決算及び特別会計決算の認定については、日隠代表監査委員より決算審査の報告を受け、議会決算審査特別委員会を設置した。2日間にわたり各課からの説明を受け審査にあたり、慎重審議の結果、全員一致をもって認定した。一般会計の決算額は、77億7千7百26万円となった。

(4ページ掲載)

【計画】

球磨村過疎地域持続的発展計画の策定について

過疎地域の持続的発展の基本方向や到達すべき目標とそのため基本的な施策を示した計画を可決した。

【条例制定】

- ①球磨村議会議員及び球磨村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について
- ②球磨村手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- ③球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

【予算】

- ①令和3年度球磨村一般会計補正予算について
- ②令和3年度球磨村介護保険特別会計補正予算について

③令和3年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について

一般会計及び特別会計それぞれの令和3年度補正予算3件を審議し、一般会計は4億3千5百16万1千円を追加し、総額68億6千19万8千円となった。

特別会計では、介護保険特別会計が6百5万9千円を追加し、簡易水道特別会計は5百万円を追加した。
(主な補正予算は3ページに掲載)

【発議】

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

原案を可決し、コロナ禍による地方財源の充実を求めるよう国会議員へ意見書を提出した。

一般会計補正予算の主な内容

今回の歳出補正予算の主なものは、ふるさと応援寄付金の実績が予算額を上回り、今後も寄付の受付が見込まれることから、**ふるさと応援基金積立金を補正すること**もに関係経費の増額。

小規模住宅地区改良事業計画策定業務委託料は、木屋角地区周辺に住宅地を整備するための計画策定や調査等の委託料。

会議室等のコンテナ借上料は、神瀬多目的集会施設の代替施設としてコンテナハウスを設置し利用する借上料で、設置費用は衆議院議員選挙の投票所として設置する。

村有施設解体撤去工事費は、村有施設の解体費用の単価が上昇したことによる不足分と神瀬福祉センターたかおとの解体工事費。

共同給水施設整備事業費補助金は、大岩、日当、永椎、四蔵

の安心安全な水の確保を目的として大岩地区でボーリング調査を実施し、配水管を布設する事業に対する補助金。

強い農業・担い手づくり総合支援交付金は、豪雨災害で被災した農業者が、再度営農をするために必要な資機材等の購入費の9割を補助。

森林環境費の各予算では、今後の山林管理について山林所有者の意向調査を実施、適正な山林管理が出来るよう検討する経費を計上。

歳入については、国庫支出金を事業費や交付決定額に合わせ補正するとともに、臨時財政対策債、財政調整基金からの繰入、森林環境譲与税と森林環境整備基金繰入金等を編成しています。

一般会計補正予算【歳出】の主な内容

※金額の単位は千円です。

予算の費目等		金額	説明
総務費	積立金	30,000	ふるさと応援基金積立金
	賃借料	899	会議室等コンテナ借上料
	工事請負費	121,911	村有施設解体撤去工事
	委託料	10,050	小規模住宅地区改良事業計画策定委託料
衛生費	補助金	23,800	共同給水施設整備事業費補助金
農林水産業費	交付金	13,000	強い農業・担い手づくり総合支援交付金
	委託料	14,500	森林環境保全直接支援事業委託料
		2,000	森林経営意向調査集計及び管理レイヤ追加業務委託料
		26,000	森林資源解折業務委託料
補助金	8,000	森林環境整備事業補助金	
災害復旧費	委託料	70,624	令和2年発生農業用施設等災害復旧測量委託料
		24,000	令和3年発生農業用施設等災害復旧測量委託料

補正額と令和3年度予算総額

球磨村一般会計補正額 (歳入歳出)	435,161,000円	総額	6,861,198,000円
球磨村介護保険特別会計 (歳入歳出)	6,509,000円	総額	661,503,000円
球磨村簡易水道特別会計 (歳入歳出)	5,000,000円	総額	81,500,000円

令和2年度球磨村一般会計・特別会計の決算は

災害関連事業が増加したが、合理的かつ効率的と認める

令和2年度の一般会計及び特別会計の決算については、監査委員による審査が行われ、球磨村議会9月定例会において、日隠啓一代表監査委員より次のとおり報告がありました。

報告は、「会計処理は、正確に処理されており、当該各決算書の計数は、関係諸帳簿及び証拠書類と一致し、差引残高も正確であると認められた。各会計の予算執行は、適正かつ効果的な事業の進捗が図られ、全体を通して概ね合理的かつ効率的であることを認める。」という内容でした。

議会では、監査委員の報告を受け決算審査特別委員会を設置し、2日間にわたり各課から令和2年度の成果報告書に基づき説明を受けました。審査の結果、全員一致を持って原案のとおり認定すべきと決定しました。

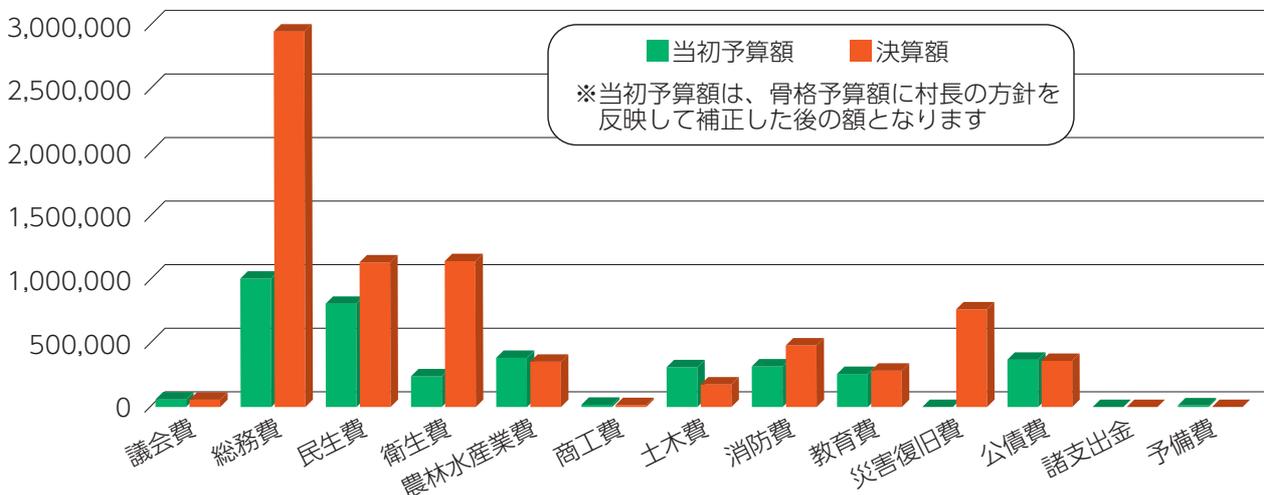
令和2年度球磨村一般会計予算の当初予算額と決算額

(単位；千円)

	当初予算額	決算額	増減
議会費	59,727	57,961	△ 1,766
総務費	1,013,849	2,965,118	1,951,269
民生費	814,956	1,142,073	327,117
衛生費	242,242	1,152,033	909,791
農林水産業費	388,190	357,666	△ 30,524
商工費	17,958	15,253	△ 2,705
土木費	314,124	178,125	△ 135,999
消防費	320,471	486,175	165,704
教育費	260,988	286,922	25,934
災害復旧費	512	771,116	770,604
公債費	373,319	364,339	△ 8,980
諸支出金	2	0	△ 2
予備費	13,000	481	△ 12,519
歳出合計	3,819,338	7,777,262	3,957,924

令和2年一般会計の「当初予算」と「決算額」の比較

単位：千円



～ 令和2年度一般会計及び特別会計の決算額と実質収支額 ～

令和2年度の一般会計及び特別会計の歳入総額と歳出総額及び実質収支額は下表のとおりです。

会 計	歳入総額 ①	歳出総額 ②	歳入歳出 差引額 ③=①-②	翌年度へ繰り 越すべき財源 ④	実質収支額 ⑤=③-④
一般会計	8,460,291,501	7,777,261,635	683,029,866	450,497,450	232,532,416
国民健康保険 特別会計	587,618,571	518,408,758	69,209,813	0	69,209,813
後期高齢者医療 特別会計	49,390,227	49,199,176	191,051	0	191,051
介護保険 特別会計	689,807,236	634,349,579	55,457,656	0	55,457,656
簡易水道 特別会計	221,627,569	201,672,413	19,955,156	538,000	19,417,156

議会決算特別委員会の意見（抜粋）

歳入については、自主財源である税金や使用料金など、電話催告や個別訪問など徴収努力はされているが、新型コロナウイルス感染症拡大や豪雨災害により新たな収入未済額も発生している。固定化する滞納者へは定期的な催告や分納誓約などを実施し、期限内納付者が不公平感を持たれないよう、更に徴収努力をされ、健全な財政運営となるよう努めること。

次に歳出について、森林環境整備基金は、森林整備等に使われるべき予算であり、有効な活用に努めること。また、国や県からの交付金等については、連携できるものは、しっかりと検討、精査し有効な活用に努めること。

簡易水道事業は、企業会計の原則を踏まえ、経営の健全化を図るため、今後とも事業運営の効率化と経費節減になお一層の努力を望む。

新型コロナウイルス感染拡大や

豪雨災害からの復旧・復興に伴い村の財政状況は、大変厳しくなってきたことが予想されるため、今後の復旧・復興をしっかりと見据え予算の確保や適正な予算執行に努めること。

最後に、災害により、これまで実施してきた事業の見直しや新たな事業の検討など、今後さらに復旧・復興が進むにつれ業務も増加すると思う。被災された住民の方に寄り添い、村民の声に広く耳を傾けていただき、全職員で協力し知恵を出し合い、新たな球磨村になるよう邁進していただきたい。

球磨村議会は、村民と手を携え、復興に向かって確実に、かつ力強く進み、すべての村民に笑顔と、ふるさと球磨村に活気が戻る日まで、ともに協力することを決意しているところである。球磨村の早期復旧と創造的復興のため、尽力いただくことを願う。

9月定例会 議案等の審議結果

	議案番号	件名	結果
1	報告第13号	令和2年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について	原案可決
2	議案第50号	球磨村過疎地域持続的発展計画の策定について	原案可決
3	議案第51号	球磨村議会議員及び球磨村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	原案可決
4	議案第52号	球磨村手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
5	議案第53号	球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
6	認定第1号	令和2年度球磨村一般会計決算の認定について	原案認定
7	認定第2号	令和2年度球磨村国民健康保険特別会計決算の認定について	原案認定
8	認定第3号	令和2年度球磨村後期高齢者医療特別会計決算の認定について	原案認定
9	認定第4号	令和2年度球磨村介護保険特別会計決算の認定について	原案認定
10	認定第5号	令和2年度球磨村簡易水道特別会計決算の認定について	原案認定
11	議案第54号	令和3年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決
12	議案第55号	令和3年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
13	議案第56号	令和3年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について	原案可決
14	発議第3号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について	原案可決

第8回球磨村議会臨時会

令和3年9月28日、第8回球磨村議会臨時会が開催され、「工事請負契約の締結について」及び「令和3年度球磨村一般会計補正予算について」を可決しました。

(内容については、次のとおり)

○工事請負契約の締結について

村道毎床線道路路災害復旧工事(7月災)について、9月21日に行われた指名競争入札で、契約金額1億1,330万円で落札された、契約の締結を可決しました。

○令和3年度球磨村一般会計補正予算について

令和3年8月11日からの大雨により、林道青戸線、林道岡大槻線、林道東俣線で被害があり、災害復旧を行うための測量設計業務委託料533万9千円を追加し、予算総額68億6,653万7千円としました。

一般質問における発言の要旨一覧

質問者	質問の要旨	頁
田代 利一議員	① 高齢者の生きがいづくりについて ② 健康づくりについて ③ 新型コロナウイルス交付金について	8
板崎 壽一議員	① 公営住宅建設について ② 被災した村営住宅について ③ 国の計画について ④ 開かれた議会とは ⑤ まん延防止措置について	9
東 純一議員	① 復旧・復興対策 ② 人口流出問題 ③ インフラ避難	10
高澤 康成議員	① 自主防災とは ② 復旧・復興の進捗	11
小川 俊治議員	① 復興計画と復興まちづくり計画	12

民生委員・児童委員の研修で一般質問をオンラインで傍聴されました



例年、民生委員・児童委員の研修で議会を傍聴されていましたが、コロナ禍のなか密を避けるため別室でオンラインによる傍聴をされました。

今後も、様々な取り組みを行いながら開かれた議会を進めていきます。

被災された高齢者の 生きがいづくりは

答 社会参加の促進と、地域貢献活動の
取り組みを推進していく

質問 被災された方々のくらしの再建と、高齢者の生きがいづくりは。

松谷村長 第6次球磨村総合計画の中で、高齢者に優しいまちづくりとして、生きがいづくりや社会参加の促進を掲げている。その中で、就労機会の拡大や地域貢献活

動の取り組み、地域ボランティアの協力による高齢者の生きがいづくりを推進することとしている。

質問 被災した農地の活用状況や村の方針は。

松谷村長 作物を作る農地の流失、土砂堆積、護岸、石積みの決壊など、さまざまな被害がっており、被災した農地の活用については、農地の復旧がないと活用は難しいと考えている。

質問 まずは耕作意向調査が先だと思いが。

犬童産業振興課長 災害が復旧した後、併せて意向を取る必要があると考えている。

質問 渡地域の農地について、村として本当に守る気持ちはあるのか、村長に伺いたい。

松谷村長 国、県の説明でも土砂撤去なども示していた

復旧を待つ渡の水田



田代 利一 議員

いているので、できる限り早くしたい気持ちは村として持っている。

質問 総合運動公園は、仮設住宅が建っていて、高齢者、子ども達が集える場所がないと聞けが、村の対応は。

松谷村長 被災した渡小学校のグラウンドを整備し、そこを使っていたきたい。

質問 スクールバスの利用が子ども達の運動能力の低下につながっていると思いが。

森教育長 放課後の社会体育のジュニアクラブも今は休止状態になっており、非常に心配をしている。学校体育の放課後利用で体力の維持を図っていききたい。

質問 新型コロナウイルスの交付金について、各課ごとの取り組みは。

永椎総務課長 空気清浄機の整備とコンビニ収納代行の整備を行っている。

友尻復興推進課長 国の特別定額給付金に上乘せ分として、一人当たり3万円給付し、65歳以上の方と身体障害者手帳をお持ちの方には1万円の加算を給付している。

大岩保健福祉課長 保育対策総合支援事業補助金として、コロナ対策に係る備品、空気清浄機等、補助を出すようにしている。

高永教育課長 網戸の設置工事、空気清浄機、アクリル板の購入と分散登校も踏まえスクールバス2台購入を計画している。

犬童産業振興課長 球磨村認定農業者等機械整備等で機械の購入補助をしている。

上部建設課長 建設課では、電子入札システムの導入を検討している。

質問 コロナ補助金を利用して軒下出荷支援事業はできないものか。

犬童産業振興課長 令和3年度予算の対策費で上げている。

災害公営住宅の建設予定地は

答

説明会で、運動公園遊具広場を示す

質問 災害公営住宅建設の説明会の詳細は。

松谷村長 8月18日に、災害公営住宅への理解を深め、生活再建を検討していただくことを目標として説明会を開き、建設予定地・入居要件等具体的な内容を説明した。

質問 渡地区の災害公営住宅建設予定地に、運動公園遊具広場敷地内と示したいきさつと住民の反応は。

友尻復興推進課長 昼・夜2〜3回の説明を行い、建設地にも触れ説明をしたが、いきさつについては特に質問はなかった。

質問 建設地は遊具地だが遊具等の取りはずし、移設についてどのように考えているか。また、子どもの遊び場はどうなるのか、これは建設を以前の問題と思うが。



災害公営住宅建設予定地の運動公園遊具広場

質問 候補地と進められて来た栗林地区の造成等と一勝地・神瀬の災害公営住宅建設は。

松谷村長 栗林地区は運動公園で不足する場合の候補地でもあり、所得制限で入居出来ない世帯のために安全な宅地の確保予定地でもある。一勝地では永崎団地に隣接する村有地に鉄筋コンクリート造りの集合住宅

形成で令和5年度中に入居を見込み、神瀬の建設予定地の木屋角地区はかさ上げ事業が関係しているため未定と説明している。

質問 村は、国・県の球磨川

流域復興計画を推奨するのか。

松谷村長 国・県・市町村が連携し、河道掘削・堤防整備・輪中堤の宅地のかさ上げ・遊水池等の取り組を集中的に実施し、浸水被害の軽減を図る計画であり、村内各地で説明会を開き進めていきたい。

質問 議員時代、村長が目指した「開かれた議会」とは

松谷村長 議会だよりの編集後記に「開かれた議会を目指す」と掲載したのは、当時多くの住民の方に傍聴してほしく、代表である議員の役割や活動を理解してもらえ、る議会と記憶している。

質問 まん延防止措置の中の小・中学校の対応は。

松谷村長 県教育委員会通知に基づき観戦の高い学習活動は行わないようにしている。

森教育長 学校の一斉休業は行わないが、各家庭で健康観察表に毎日記入するなど感染対策の徹底をし2学期も通常どおりに始業している。



議員 一壽 崎 板

生活再建に不安もある中、 計画や、スケジュールは

答 速やかに示していくことが重要である

質問

地区の工事計画内容や、スケジュールの違いもあり、生活再建に不安や迷いのある被災者も多いのではないかと。村としての事業の進捗、今後の流れは。

松谷村長

生活再建を考える上で、今後の整備スケジュールを示していくことが重要であることから、国、県と連携しながら、速やかにお知らせする。

友尻復興推進課長

治水事業に関しては、令和5年以降の着手予定で遊水地計画が国から示された。また、災害公営住宅は、一勝地と渡は令和5年度中の入居を見込んでいる。神瀬の予定地は、地区かさ上げ事業と関連していくことから未定と説明している。

質問

一勝地地区は、球磨川の県道側で多くの戸数が全壊の被害

を受けている。現段階どのような状況ですすめられているか。また、神瀬地区は、治水対策が示されないことには住民は全く前へ進めない状態であり、不安という立ちの日々が続いている。先が未定という言葉しか出て来ない状態にある。村長として、言える言葉で発信していただきたい。對話していただきたい。

松谷村長

JR等の絡みや、国の治水対策もあり、住民に示しできない状況と思う。国の説明を待ち、村としても国、県と協議しながら進めていきたい。

質問

人口減少は、災害後厳しい状況にあるが、何とか減少率を減らす対策はないものか。村には豊かな自然があり、観光資源もある。どのように活かすか、活用

松谷村長

JR等の絡みや、国の治水対策もあり、住民に示しできない状況と思う。国の説明を待ち、村としても国、県と協議しながら進めていきたい。

人口減少は、災害後厳しい状況にあるが、何とか減少率を減らす対策はないものか。村には豊かな自然があり、観光資源もある。どのように活かすか、活用



東 純一 議員

するかが必要かと思う。今後の取り組みについての考えは。

松谷村長

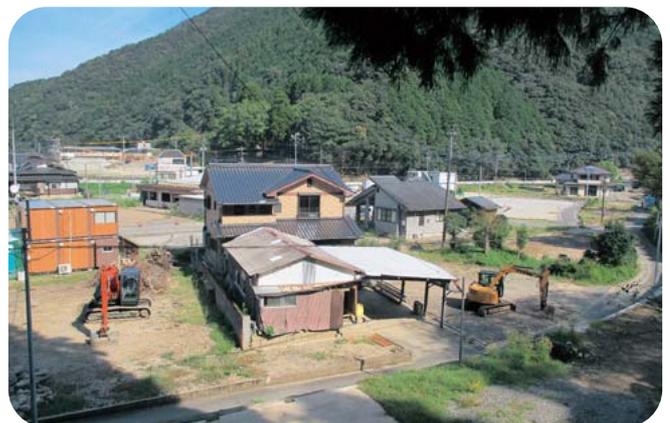
減少した大きな要因として、7月豪雨の発生により、村外に避難されたことによるものと思われる。復旧・復興を進め、その都度、新しい取り組みの情報を伝えていく。それを徹底していきたい。産業振興、移住定住を復旧・復興と同時に進めていくことが人口減少対策になるかと考える。

質問

インフラ避難について、現地や、避難された方々の状況と今後の課題は。

松谷村長

発災から1年が経過し、今後の復旧工事、見通しの聞き取りを踏まえ、国、県と協議を行い、9地区を解除することとし、経緯



かさ上げ予定地の神瀬中心地区

を説明した。他の地区は今年12月までの解除は予定していない。

質問

解除され自宅へ帰ったとしても、生活の中で見えていなかったことも出てくるのではないかと思います。終わりではなく、状況確認等、対応が必要ではないか。

永椎総務課長

帰宅し、安心して生活できるようなことを行政として、やっていかなければならない。

避難所運営、地域で担う考えは

答 今回は見送りとしたが、管理運営について、見直しを含め検討する

質問 住民が主体的に行うことの一つとして、自主防災組織の立ち上げ、運営が求められている。全て、行政に頼るのではなく、地域でできることは地域でやる心構えを持たせることが必要と思うが村長の考えは。

松谷村長 自主防災の要となる自主防災組織は、住民の共同精神に基づき自発的な防災組織として、市町村が充実に努めなければならぬ。昨年豪雨災害以降、地域住民が仮設住宅等の生活のため、自主防災活動もままならない状況ではあるが、住民自治による「コミュニティづくりを推進することは、地域の防災力を高め、安全で住みやすい地域づくりを進めるうえで重要」。

質問 避難所運営について、自主防災組織の立ち上げと自らの自治として地域が担うことについての考えは。

松谷村長 指定緊急避難所の開設は、当番制で役場職員が運営を行うが、長期の開設となれば、職員に負担がかかり、通常業務にも影響が生じる。自主防災組織の活動、役割に沿って避難所の管理運営を班長、区長、自主防災組織にお願いできないか検討した。今回は見送りとしたが、避難所管理運営について、見直しを含め検討を進める。



7月豪雨で103人を地域で支えた高沢避難所

質問 指定避難所の備蓄品で

ある、毛布、乾パン、水などが昨年のままの状況。復旧、復興を進めるなか、同じような災害があるかもしれないとの思いで1年経過したが整備、拡充を検討されたのか。

永椎総務課長 昨年の災害時多くの支援をいただいた。不十分だが計画的に整備を進めたい。

質問 ヘリポートの土砂撤去、

消防詰所の改築、AEDの設置について、支援策はないか要望したが変わらなかった。しかし、地元で完成、設置した。自分たちでやることは自分たちでやりますが、求められたことに真剣に向きあったのか、村長の今のやり方で、しっかりできるのかどうか聞きたい。

松谷村長 地域でできることは地域で協力をお願いし、地域でできないことは行政で行う。しっかり

棲み分けを行いたい。

質問 各河川や道路の復旧の進捗は。

松谷村長 国直轄、熊本県管理の河川は契約40%、工事完成30%。県代行の村道も完了率ゼロ、発注なしもある。本村施行の村道が契約69%、完了34%、河川が契約83.9%、完了12.9%である。

質問 中園・高沢間の仮復旧完了が来年の6月との説明をされているが、1年を経過したなかで迂回路の大瀬線が始まったばかり、本当に実現性があるのか。

松谷村長 1年2か月経ってようやくとの住民の皆さんの感情はあると思う。村内多くの被災箇所が出たなか、今日に至っていることについて了承いただきたい。

質問 命にかかわる救急車の出動や有事の際の生活道路や迂回路の復旧整備は真剣に考えてもらいたい。孤立状況ともいえる川島地区のヘリポートは土砂置き場になっている。把握されているのか。土砂撤去し、ドクターヘリが来れるようしてもらいたい。

松谷村長 確認してないが、しっかり対応したい。



高澤 康成 議員

復興まちづくりの目指す目標、 姿が明確になっているのか

答 渡地区で、総合運動公園内に渡小学校、千寿園の再建と防災拠点を整備

質問 復興計画と復興まちづくりは復興に向けての両輪ともいえる関係。復興計画が住民との間で共有できているのか、復興まちづくりの目指す目標、姿が明確になっているかが今後の復興の力ギとなるが。

松谷村長 地域別協議会は、地域の方々のまちづくりの意向を集約する重要な役割果たす組織。意見を集約し、今年度中に復興まちづくりをまとめる。渡地区においては将来を見据え、総合運動公園内において、被災した渡小学校と千寿園の再建とともに、防災拠点として整備を計画している。

質問 今後の復興については、復興計画に基づく復興まちづくり計画の策定、その上で住民と行政が協議し、修正を繰り返しながら納得の上、合意する道筋と思いが。

松谷村長 復興計画は行政が中心



小川 俊治 議員

見直すという関連性は生じない。

質問 地域別協議会で住民の意見で特筆するものは。

松谷村長 渡地区で、復興計画に掲載している候補地以外に、小川の尋常小学校跡地や峯地区内の空き地、城山などを宅地の候補地にできないかなどの意見があった。

質問 地域別協議会での意見発言は復興計画に直結するものが多いと思う。復興まちづくりの話し合いの場での復興計画のより具体的な内容を出した上で協議する進め方の考えは。

松谷村長 まちづくり計画は具体的なところを住民に決めてもらう、提案してもらうスタンスを進めている。

質問 昨年より普通交付税交

付額が増えたが、人口減少に伴う財政運営について、今後の普通交付税交付額の推移は。

松谷村長 昨年より普通交付税交付額は1億6598万円の増加。

令和4年度以降の交付税額算定については、急激補正係数の影響が年々小さくなると予測されるため、算定方法の特例措置を求める意見を再度総務省へ提出する。基金の積み増しもできているが、余裕があるかという点、依然として国、県の動向に左右される状況にある。国、県の補助金や交付金措置率の高い地方債を活用し、財政負担が小さくなるよう取り組む。

質問 復興事業に対する財源は地方債に多くの比重がかかると思われる。地方債は、借金であり将来負担に大きな影響を及ぼすが、今後の見通しは。

永椎総務課長 公の施設等についてこれから多くの事業が出てくる。地方債は借金であり、将来過度の負担にならないよう心がけていく。



地域別協議会の様子

になって行く。基本理念や基本方針など目指すべき姿を示す計画書。復興まちづくり計画書は、住民が主体となって住まい、暮らしなどを中心に地域が抱える課題や将来像、ハード・ソフトの両方の事業等を具体的に示した地域、地区別のまちづくり計画書となる。復興まちづくりの進展に伴い、復興計画を

渡地域の復興予定地を視察

令和3年10月6日、令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興に係る計画、現状と今後の早急な復興事業について認識を深めるため、計画予定地を視察しました。

視察は、山口、地下、今村地区に予定されている遊水地計画について国土交通省八代河川国道事務所、森副所長から説明を受け、宅地として嵩上げ予定地の峯地区、災害公営住宅建設が予定されている運動公園、宅地開発予定の山口塚の丸地区を復興推進課と建設課から説明を受けました。

現地では、遊水地計画の内容、峯地区かさ上げ高の確認、災害公営住宅の概要、宅地開発予定地の現状などを確認し、これからの復興について議会としてどう判断していくかなど、現状と計画について認識を深めることができました。



国土交通省より遊水地予定地の説明



峯地区のかさ上げ予定地



災害公営住宅建設予定地の運動公園



宅地開発予定地の山口塚の丸地域

どなたでも傍聴できます。

次回は、12月定例議会（日時未定）

9月定例議会の傍聴人数は延べ38人でした。

※民生委員研修会（9月7日）のオンライン傍聴を含みます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、傍聴者も手指の消毒とマスクの着用、傍聴席の座席を1つ空けて着席をお願いしました。

くまっこ

一勝地小学校



学級目標

最高学年としての自覚を持ち

- ・ルールを守り、みんなのお手本になる。
- ・自分と友達を大切にし、励まし合い、高め合う。
- ・目標に向かって最後までがんばりぬく。

クラスの自慢

- ・大きな声であいさつ・返事をする
- ・仲間を大切にする
- ・花の水やりを進んでする
- ・授業中の姿勢がいい

<6年> 永椎 南実

私達の学級は、男女関係なく仲が良く、毎日にぎやかな学級です。休み時間にみんなでワイワイ話している時が一番楽しいです。授業では、「学びの基本」の目標の「ひじを伸ばして手を挙げる」「ぺったん・ぴん・ぐうの姿勢で授業を受ける」を毎日意識してがんばっています。また、運動会に向けて、気持ちを込めてエール交換を行うことやキビキビ行動することもがんばっています。これからも、一勝地小学校のリーダーとして、みんなを引っ張ること、将来の夢に向けて努力することを頑張っていきたいです。

<担任の先生> 鶴山 典子

6年生は、男子6名、女子5名、計11名です。豪雨災害やコロナ禍の中でも、毎日笑顔で登校し、何事にも一生懸命取り組む姿にいつも元気をもらっています。災害にあい、復興に向けて取り組む球磨村で、子ども達が経験したことや見たこと、感じたことを忘れず、前向きに吸収して成長して欲しいと思います。中学校に向けて、一日一日を大切に、みんなを励まし合い、高め合いながら頑張っていきます。

編集後記

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下で、東京五輪が1年遅れて開幕、ほとんどのスタンドに観客の姿がない、前代未聞の大会で閉幕しました。

開催に賛否両論があったにしても、出場するアスリートは「より速く、より高く、より遠くへ」と、幼い頃から五輪を目指して練習を重ねた結果、ようやくたどり着いた最高の舞台だと思っています。

今だに先のない新型コロナウイルスと、本村の災害復興ですが、少しでも勇気をあたえられた五輪ではなかったかと思いました。

犬童 勝則

議会広報特別委員会

委員長	小川 俊治
副委員長	犬童 勝則
委員	東 純一
委員	板崎 壽一